指定管理者制度導入施設の管理運営状況 【対象年度:令和4年度】

※1~6: 所管課記入、7: 指定管理者記入、8~9: 指定管理者及び所管課記入、10: 指定管理者及び所管課記入(実施した場合)

所管部·課	建設部都市まちづくり課(松本建設事務所)
指定管理者	TOY BOX

1 施設名等

		住所	松本市神林5300
施設名	長野県松本平広域公園	電話	0263-57-2211
		ホームページ	https://shinshu-skypark.net/

2 施設の概要

一心以りが女								
設置年月	昭和 平成 6年 4月		根拠条例等	長野県都市公園条例				
設置目的	住民福祉の増進に寄与	住民福祉の増進に寄与することを目的として、一般住民にスポーツ及びレクリエーションの場を提供するため。						
	競技スポーツゾーン	陸上競技場、補助競技場、球技	場、相撲競技場、庭球	競技場、体育館、国体の森、ピクニック広場、マレットゴルフ場				
	ターミナルゾーン	やまびこドーム、東管理棟、やすら	ぎ広場、イベント広場、ブ	大型木製遊具、展望台、修景池、里の水景、バーベキューピット、親水瓜				
	ファミリースポーツゾーン	南管理棟、サイクルセンター、ラ	ンニングステーション、	パターゴルフ場、大芝生広場、遊具、ニュースポーツ、ミニ滑走路				
施設内容 野と花のゾーン 展望広場、ワイルドフラワー園、玉石広場、風の丘								
	花のプロムナードゾーン	花のプロムナードゾーン バラ園、花木の小径						
	みどりのプロムナードゾーン	ストリートバスケットコート、クライ	ミングウォール、壁打	ちテニスコート				
	みどりの交流ゾーン	総合球技場(サンプロアルウィン)、芝生グラウンド、多	・目的広場、マレットゴルフ場 開園面積:141.6ha				
利用料金	有料施設:陸上競技場、補助競技場、球技場、相撲競技場、庭球競技場、体育館、総合球技場、芝生グラウンド、							
们用种亚	やまびこドーム、東管理棟、ランニングステーション、パターゴルフ場、宿泊施設(施設により料金は異なる。)							
開所日	年中無休							
開所時間	8:30~22:00							

3 現指定管理者前の管理運営状況

期間	管 理 形 態	管理受託者又は指定管理者等
~平成17年度	直営・管理委託・指定管理・その他()	財団法人長野県公園公社
平成18年度~20年度	直営・管理委託・指定管理・その他()	TOY BOX
平成21年度~25年度	直営・管理委託・指定管理・その他(TOY BOX
平成26年度~30年度	直営・管理委託・指定管理・その他()	TOY BOX

4 報告年度の指定管理者等

指定管理者	TOY BOX	指定期間	平成31年 4月 1日 ~ 令和6年3月31日(5年間)
選定方法	公募(応募者数:1)·非公募(随意指定)		

5 指定管理料(決算ベース)

	令和4年度(A)	令和3年度(B)	差(A)-(B)	※(A):当該年度、(B):前年度(以下同じ)
	417,250 千円	427,609 千円	-10,359 千円	
•		増減 理由	コロナ対策経費の増額分	が減少したため

6 指定管理者が行う業務

(1) 都市公園(建物、備品等を含む)の維持管理に関する業務及びこれに付帯する業務

(2) スポーツ施設等の利用許可及び利用料金に関する業務並びにこれに付帯する業務

7 利用実績等

(1)利用実績【指標:利用者数・利用件数・稼動率】

(単位:人、件、%)

The state of the s													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和 4年度(A)	25,728	56,520	41,834	39,409	16,911	38,713	40,466	25,149	5,589	5,558	4,719	16,377	316,973
令和 3年度(B)	25,653	45,616	33,390	29,047	13,962	24,391	31,970	35,374	24,808	5,244	6,371	14,838	290,664
(A)/(B)	100.3	123.9	125.3	135.7	121.1	158.7	126.6	71.1	22.5	106.0	74.1	110.4	109.1
増減要因等	減少要因:陸上競技場・庭球場建替え工事による利用停止(11/14~)により△8,800、体育館改修工事による利用停止(7/1~)により△29,300。												

(2)利用料金収入 (単位:千円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和 4年度(A)	3,885	6,619	4,709	6,007	2,940	5,432	5,192	5,217	1,971	1,536	1,418	3,009	47,935
令和 3年度(B)	3,420	4,772	4,700	4,916	3,673	3,156	5,417	5,546	3,641	1,515	2,512	3,125	46,393
(A)/(B)	113.6	138.7	100.2	122.2	80.0	172.1	95.8	94.1	54.1	101.4	56.4	96.3	103.3
増減要因等	減少要因:陸上競技場・庭球場建替え工事による利用停止等の影響により△3,700、体育館改修工事による利用 停止(7/1~)により△6,150。												

(3) 利用料金見直しの状況(前年度と比べて)

見直しの有無	見直した場合はその内容					
有・無	東管理棟・ランニングステーションの新施設開設による施設利用料金					

(4) 開所日・時間の見直し等の状況(前年度と比べて)

開所日数	開所時間	見直しの有無	見直した場合はその内容
令和4年度(A):365日	令和4年度(A): 8:30~22:00	# (=	
令和3年度(B):365日	令和3年度(B): 8:30~22:00	有・無	

(5)サービス向上のため実施した内容

- ・4月に新しい拠点として東管理棟が運用開始され、広く利用者に認知してもらうためオープニング企画として県と共催しての「緑化講習会」の開催や季節柄ならではのイベントを実施した。また、広報活動としてSNS・広報誌の活用やマスコミを通じての情報発信を行った。
- さらに自転車無料券付きチラシを作成・配布し利用促進を図り、賑わい創出として管理棟内の音楽放送システムを構築し活用した。
- ・ランニングステーションの運用についてアンケートを実施。利用者の要望に併せて利用時間を拡大するなど利用者サービス向上に努めた。
- ・南管理棟のホールの受付を分かり易く相談し易い雰囲気となるよう、機能的な配置に心掛け快適な空間にリニューアルした。
- ・InstagramやTwitter、FacebookなどSNSを積極的に発信。ストーリーなどリアルタイムな情報提供に取り組み、公園新スポットやバラの開花 状況などの今を伝えることで利用促進を促した。
- ・公園ボランティア「花守りの会」、「エバーグリーンキャンペーン」などの他、新規の活動「笹賀オシドリザクラを守る会」や「桜プロジェクト」を 実施。バラ園やシバザクラに加えて、信州花フェスタの会場となったターミナルゾーン等のみどりの充実を図った。

(6)その他実施した取組内容

- ・県と長寿命化調査の精査・情報共有を密に行い、それぞれ分担しながら木製ベンチ、遊具、サイン看板など経年劣化の進む公園施設の C・D判定箇所の修繕を優先的に実施し、安心安全な公園管理に努めた。
- ・公園内で放送の届かない箇所を調査し、スタッフ自ら配管ルートの選定、配線を実施。街かど広場に新たに放送設備を新設した。
- ・ターミナルゾーン連絡橋スロープを安全に通行いただくため、減速対策の警告案内・車止め、カーブミラー・カメラの設置等の対策を行った。
- ・withコロナを見据え、感染症対策を行いながら「ジョブチャレンジ」や「ジュニアインターンシップ」を受け入れ(7回)、プラットホームとしての 役割づくりを図った。

(7)利用者の主な声及びその対応状況

- ・サンプロアルウィンや近くの多目的トイレをウォシュレットにしてほしい。→取り壊し前の陸上競技場よりウォシュレットを移設設置した。
- ・左側通行を守らない人がいる。→スカイロード10の園路面に矢印を追加し、更に自転車のピクトグラムを追加し分かりやすく工夫した。
- ・東管理棟と23号トイレにドッグステイがほしい→ 東管理棟と23号トイレにそれぞれドッグステイを製作・新設した。
- ・ドッグランの大型犬エリアに小型犬が入らないようにしてほしい→安全に運用されるよう工事打合せにて協議し入場管理できるようにした。

8 管理運営状況(実施状況及びそれに対する評価を記入)

※項目は施設の状況に応じ加除修正してください。

日生是古仏儿	(美胞状況及びてれに対する評価を記入)	※項目は施設の状況に応し加除修正し(く	1.2000
項目	指 定 管 理 者	所 管 課	評価
施設の目的に沿った管理運営	●協定書、仕様書及び事業計画書に基づき、年間維持管理計画に従って管理運営を実施したほか必要に応じて県と打合せのうえ協議を行い、臨機応変な管理運営を行った。 ●防災訓練(2回/年)AED講習など内部講習会の他、遊具の日常点検講習会や主要スタジアム研修会等の外部講習会へ出席するなど、公園スタッフとしての意識向上に努めた。	・施設清掃や植栽剪定、遊具点検等を定期的に実施し、適切な維持管理及び質の高いサービス提供を行った。	А
平等な利用の確保	●ホームページや多くの人が閲覧しているインスタグラム、ツイッターなどに 随時お知らせ更新を行い、幅広い人に平等に広報できるよう運用を行った。 ●パーペキューピットの場所取りの禁止を徹底するなどルールの厳格化を図り、平等な利用を促した。 ●サンプロアルウィンの芝生の無料開放イベントを県と恊働して行い、普段なかなか利用できない芝生を一般開放した。 ●競技スポーツ施設利用者調整会議を実施し、公正な施設利用機会の提供を図った。	・サンプロアルウィンの芝生の無料開放イベントを県と協働して行い、多くの人に施設へ親しみを持ってもらい、魅力を伝える機会を提供した。	Α
利用者サービス向上の取組	●随時モニタリングとしてアンケートをQRコードにし、各公園施設に掲示することで、利用者がいつでもモニターとなれるよう図った。 ●ランニングステーション会員が、早朝、夜間、定休日も利用できるように利用時間を延長した。 ●近隣の保育園に東管理棟サイクルセンターの無料利用券を配布した。 ●「DIM=Do It Myself」を合い言葉にスタッフ自らが不良箇所の調査・修繕を迅速・確実に行うことで、サービス向上とコスト縮減を両立させた。	・利用者の意見聴取に努め、利用者のサービス向上に努めた。 ・施設の利用時間及び定休日を適宜変更し、利用しやすいサービス提供に取り組んでいる。 ・近隣住民に対する利用にも積極的に取り組んでいる。 ・「DIM=Do It Myself」を合い言葉にスタッフ自らが不良箇所の調査・修繕を迅速・確実に行い、利用者に安全なサービスが提供できるよう努め、コスト削減についても努力したと認められる。	А
自主事業	●東管理棟完成に伴いオープニングイベントとして『たまごちゃんハント』『カプトムシ研究教室』を東管理棟ホールで開催し、多くの方に参加していただき東管理棟の告知を行った。 ●ランニングステーション利用促進企画としてランニングステーションをスタートし、スカイロード 10を周る『夕涼みランニング会』を開催した。 ●リビングガーデンハウスの利用促進を目的にリビングガーデンハウスの横でBBQを行う『1日1組限定!リビングガーデンハウスでBBQ をしよう』を実施し好評を得た。 ●まつもと空港・FDAと協力しミニ滑走路にて「秋空に飛行機をお見送りしよう」を開催し空港との連携を図った。	・新施設のオープンに伴いイベントを複数回実施し、新しい施設の周知、利用者増加、賑わい創出に努めている。・利用率の低い施設の利用促進に取り組んでいる。・まつもと空港・FDAと協力して各種イベントを開催し、空港との連携を図ったと認められる。	А
職員・管理体制	常勤職員:37名、非常勤職員:4名、計41名 ◆仕様書及び事業計画書に基づく職員配置を行うとともに、クレーム対応など運営本部と連携し体制を強化して対応した。 ◆有資格者による施設点検を適宜実施した。また、芝草管理技術者や公園管理運営士、遊具点検講習受講者等の資格者のチェックにより、効率よく安心・安全な公園に努めた。 ◆谷ソーンに設置の監視カメラ、合計40基を常時運用・一括監視し安全に努めた。 ・バラ・花木の専門知識を有したスタッフが管理する事で、バラ園や花木を充実させより良い公園管理が実践できた。	・適正な職員配置を行っているほか、クレーム対応などについても運営本部と連携し体制を強化するなど適切な体制が認められる。 ・施設管理、電気、清掃等、複数の専門分野からなる組織の特徴を生かし、各種有資格者を適正に配置し点検・管理を実施し、効率よく安心・安全な公園管理を行っている。 ・植物の専門知識を有したスタッフが従事し、バラ園や花木ゾーンの魅力向上に取り組んでいる。	Α
収支状況	●本業と自主事業の収入合計511,321千円に対し支出合計505,674千円で5,648千円の収支差額となり、支出の圧縮を図り、堅実な運営を行うことが出来た。 ●DIM修繕を行うことによりコスト縮減を図り、外注費を抑える事が出来た。(概算外注費用比-351,5千円) ●デマンド管理を徹底し、高騰が続いている電気代の圧縮を行った。 ●提案書人件費予算93,590千円に対し、R4年度実績105,267千円(増減理由:継続雇用によるベースアップと新施設への配置による人員強化)	・光熱費、人件費が高騰する中で、DIM修繕やデマンド管理の徹底により支出の削減を図り、堅実な運営ができている。	В
総合評価	●東管理棟やランニングステーションなど新しい施設の運用をスムーズに行うと共に、アンケートを積極的にに実施し、時間を変更協議するなど柔軟な利用者サービス向上を図ることが出来た。 ●新施設の東管理棟を活用し、県建設業協会女性部会の花植え講習会や近隣小学校・保育園の作品展示・交流を行うなど、地域との連携協力となる循環型の取組みを行った。 ●電気代高騰を最小限にするべく各施設の利用状況に併せてデマンド管理を徹底。また、漏水箇所を特定した修繕や、更新を必要とする照明器具は積極的にLED化するなど光熱水費の縮減に努めた。 ●園内整備工事との連携を図り工事が円滑に進むよう利用者への周知・利用期間の変更など柔軟に対応した。	・各施設の管理運営を適切に行ったほか、利用者増加や賑わい 創出につなげるイベントの実施、利用時間の変更などを適宜実施 し、利用者サービス向上、自主事業の取組強化を図っている。 ・地域と連携した公園管理を行い、一層の賑わい創出を図る取組 を実施している。 ・限られた予算の中で、安心・安全・魅力的な公園とするよう、各 分野の管理運営方法や職員体制を工夫し、適正な管理運営が行 われていると認められる。	Α

- <評価区分> A:仕様書等の内容を上回る成果があり、優れた管理運営が行われている。
 - B:おおむね仕様書等の内容どおりの成果があり、適正な管理運営が行われている。
 - C: 仕様書等の内容を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要である。 D: 仕様書等の内容に対し、重大な不適切な事項が認められ改善を要する。

9 施設管理運営の課題

項目	指 定 管 理 者	所 管 課
施設の管理運 営の課題	●利用者の多様化によるモラル・マナーの低下への対策 ●継続した大型イベント事業、販売事業等の新規自主事業による賑わい創出と新規利用の拡大	・多くの方々が利用する空間と施設を有する松本平広域公園は県民の貴重な財産であるため、指定管理者と連携を図りながら各施設の長寿命化対策を実施する。 ・指定管理者の自主事業を共催・後援することで後押しし、維持管理の負担軽減に努め、さらなる賑わい創出や魅力向上など図っていきたい。 ・指定管理者と連携して不適切な公園利用対策やモラル、マナーの啓発を含めた広報活動の取組を進めていきたい。

10 第三者評価で指摘された事項の管理運営等への反映状況(第三者評価実施年度の翌年度以降に記載)

【実施年月日:令和3年11月10日】

第三者評価における指摘・意見等	管理運営等への反映状況	
	指定管理者	所管課
【施設目的に沿った管理運営】 ・広い公園にも関わらず定期的な点検が行われ、良好な施設管理がされている。 ・サッカー場(ビッチ)の芝生について他チームから良好な評価を受ける等、良好に管理されている。	・引き続き定期的に点検等を行い良好な施設管理を 行った。 ・芝生を含む施設管理において、利用者より良好な評価を頂けるよう管理した。	・指定管理者は責任感と誠意をもって、質の高い維持管理にあたっています。 ・引き続き、適切な管理運営に努めるよう指導、助言を行っていきます。
【平等な利用名確保】 ・利用調整会議を設けることで、平等な利用が確保されるよう運営されている。 ・松本に位置する公園ということで、利用者が中信地域居住者に偏りがちである。長野県の施設であることから、幅広い県民への発信を行う必要があるのではないか。		・指定管理者と協力し、広域的に公園の魅力を伝える べく、情報発信の一層の充実に取り組んでいきます。
【利用者サービス向上の取組】 ・DIM(Do It Myself)による不具合箇所修繕の即時対応など、利用者の安全を考慮した対応がなされている。 ・犯罪や風紀に関わる苦情等については、より積極的な対応をお願いしたい。	・DIM(Do It Myself)による不具合箇所修繕の即時 対応など、利用者の安全を考慮した対応を行った。 ・犯罪や風紀に関わる苦情等について、管理者全員が 情報を共有し通常巡回の他、夜間巡回等を積極的に 実施して対応した。	・不具合箇所の修繕を引き続き迅速に実施するようお願いしました。 ・犯罪や風紀等に関わる苦情等について、指定管理者 全体での情報共有や、迅速な対応を指導しました。
【自主事業】 ・自主事業を行う際、必要な協議等も行われている。 ・計画書で予定された事業は基本的にすべて実施されている。 新型コロナウィルス感染症の影響で実施不可と判断されたもの については、代替案を講じ実施されている。 ・多様な自主事業が実施されており、良好である。	・引き続き参加者アンケート等も参考にしながら今後も 多様な自主事業ができるよう、魅力ある企画を計画し 取組みを行った。	・公園の活性化、PRにつながるようなさらなる魅力ある、賑わい創出になる自主事業の企画をお願いしました。
【職員・管理体制】 ・専門的な知識を持った職員が活躍しているようであるが、さらなるサービス向上のため、様々な方面の専門知識を持った職員を増やせるといい。	・さらなるサービス向上のため、様々な方面の専門知識を持って対応できるよう資格取得等人材育成にも力を入れた取組みを行った。	・サービス向上のため、職員の研修計画を充実するように指導、助言を行っていきます。 ・初心にかえってコンプライアンス、ホスピタリティに欠けることがないか注意するよう指導しました。
【収支状況】 ・指定管理者としての経営については、新型コロナウィルス感染症の影響が大きい中、かなりの努力がなされている。	・新型コロナウィルス感染症の影響に注視し、良好な収支状況となるよう管理した。	・アフターコロナの中、自主事業を積極的に実施するようお願いしました。 ・指定管理者として適切に予算を執行しているか、毎月の月次検査や事業完了検査を通じて確認してまいります。
【総合評価】 ・新型コロナウィルス感染症の影響で施設運営が難しい中、適切に管理されたと認められる。 ・利用者が減少した中で収支をプラスにしたことは評価できる。利用者でメケートでも多くの割合でよい評価をされている。今後も適正な管理をしていただきたい。 ・利用者としても様々な相談をさせていただいた。引続き良好な施設運営、サービスの提供をお願いしたい。 ・大きな規模の公園であり、無料で使える遊具等が多く、入場者の管理が難しいため、安全管理・事故防止にはより一層力を入れて取り組んでいただきたい・	・良好な施設運営となるよう適切に管理した。 ・収支がプラスとなるよう管理し、利用者から良い評価を頂けるよう適正な管理を行った。 ・利用者からのご意見を大切にし、良好な施設運営とサービスの提供を行った。 ・安心・安全な公園となるよう、遊具の点検や、巡回業務を行い安全管理・事故防止の取組みを行った。	・アンケートに表れる公園、職員に対する高評価、好印象を推持し、さらに向上させるために、「県民から管理を任せられている」という意識を常に持ち、安心・安全な公園の管理運営にあたるよう指定管理者を指導しました。